

共感すること

- **注意すること** 被害者に何をすべきかを指示してはいけません。私たちの目標は、被害者が失った力を取り戻し、自分の人生をコントロールできるようになるのを援助することです。被害者に何をすべきかを指示することは、逆効果になる可能性があり、加害者をかばうようになるかもしれません。
- **注意すること** 判断や批判で反応してはいけません。「なぜ、虐待者とまだ一緒にいるのか？」等の被害者非難は、被害者が自分の虐待に責任があるように感じてしまう可能性があり、代わりに、被害者は安全であり、尊重されるべきであると伝えましょう。
- **注意すること** 虐待の正当性を認めない事。要するに、虐待行為は、誰かがその行為を選択して行ったものであるということです。
- **必須** なぜ、その様な情報開示がなされたのかをよく検討してください。何らかのきっかけがあって、被害者が現在あるいは過去の虐待を明らかにした可能性があります。

話を聞く

- **話を遮らないでください。**被害者が名乗り出るのは辛い事であり、彼らの話を聞く意思があることを示す必要があります。
- **詮索しない** 被害者のプライバシーを尊重し、ある種の情報開示は、人間関係のすべてを明らかにするものではないことを理解してください。また、無理強いせず、あなたが求めている情報は、被害者の安全に関するものなのか、それとも単なる好奇心によるものなのか、よく考えてください



サポートする場合の会話例:



情報開示への対応やその他の資料の入手方法については、hscadv.orgをご覧ください。

このプロジェクトは、米国司法省Office of Violence Against Womenから交付された助成金番号15J0VW-21-GG-00695-STATの支援を受けています。この出版物/プログラム/展示で表明された意見、発見、結論、勧告は著者のものであり、必ずしも米国司法省の見解を反映するものではありません。



HAWAI'I STATE
COALITION AGAINST
DOMESTIC VIOLENCE

ドメスティック・バイオレンス開示への対応について

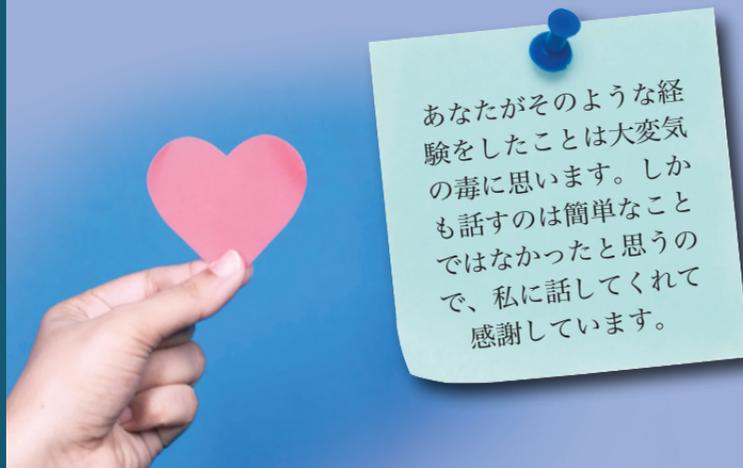
被害者は、カウンセラーや警察官などの専門家ではなく、まず知り合いに相談する傾向があります。このガイドは、DVが明らかになったときに、あなたが会話をどのように進め、トラウマに配慮したケアを提供する際役立つでしょう。

プライバシーの確保

- **必須 もし** 公共の場で虐待の告白を始めた人がいたら、安全で、かつプライベートな空間に移動しましょう。
- **注意すること** 公共の場にいる事が唯一の選択肢である場合、虐待者が近くに居ないことに留意し、虐待者が会話を聞くことができないように注意しましょう。
- **必須** 被害者の情報を大切に保管しましょう。あなたの役割とその人との関係によっては、開示された情報を報告する必要があるかもしれません - その際は率直に話すべきです。しかし、報告義務がない場合、被害者の同意なしに誰かに情報を提供することは控えてください。これは、彼らや彼らの経験を尊重するためだけでなく、安全性の問題でもあります。

信頼関係の構築

- **必須** サポートの言葉をかけましょう。人は、自分が信じられていると感じれば、助けを求めるようになるものです。
- **必須** 数ヶ月から数年前に発生した虐待であっても、真剣に受け止めましょう。現在、虐待が起こっている場合でも、一定期間休止していた場合でも、被害者は虐待に苦しんでいることには変わりはありません。



対応

- **必須情報** ハワイのすべての各郡に、被害者に選択肢を与え、専門的な情報を提供する、ドメスティック・バイオレンス・サービス機関があります。 hscadv.org/get-help
- **必須** 被害者のニーズに焦点を合わせ、サポートと共感を示し、被害者に関心を戻し、彼らのペースで進めることが重要です。彼らはまだ完全に関係を断ち切る準備ができていないかもしれません。合意することができなくても彼らの判断を尊重しましょう。彼らは自分たちの人間関係の専門家であり、自分たちの状況を一番よく知っています。
- **必須** あなたの組織／雇用主の報告方針を確認しましょう。被害者の年齢やあなたの職業によっては、報告義務がある場合があります。

- **必須** 安全対策プランを作りましょう！プランは定期的に様子を見に行く、家庭内で安全だと思える場所や虐待の最中や後に逃げ込める場所を確認する、いざというときに誰に電話すればいいかを知っておくなど、簡単なもので良いのです。
- **注意すること** 被害者の状況を解決することに責任を感じてはいけません。すべての答えを知っている必要はないのです。

